

河北新報社主催 第31回仙山カレッジ

「国道48号の将来を考える」

～物流、防災 横軸連携の礎に～

仙台市と山形市を結ぶ国道48号は、長さにして81.6^{km}。関山峠を越えて東西に通じる道として、江戸時代から使われてきました。明治時代に関山街道と呼ばれるようになり、山形県令の三島通庸が県境を通す「関山トンネル」の建設を進めました。

東日本大震災では、山形県側から被災地に向けての物資が国道48号を通して運ばれてたことから「命の道」とも称されました。冬場の環境は厳しく、2年連続で雪崩も発生しています。物流、防災、横軸連携の在り方を焦点に、国道48号の将来を語り合います。

○日 時 2015年6月20日(土)午後1時30分から午後4時

○会 場 「花の湯ホテル」 東根市温泉町1丁目7-12 電話0237(42)0050

○講 演 東根市長 土田 正剛氏

○討 論

パネリスト 東北地方整備局道路部道路調査官

大江 真弘氏

山形県トラック協会専務理事

奥山 公吉氏

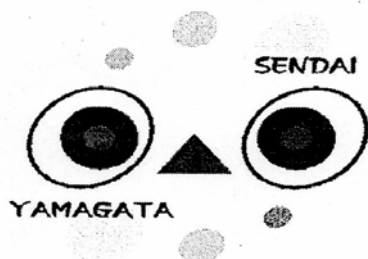
防災科学技術研究所新庄雪氷環境実験所契約専門員

阿部 修氏

座長・コーディネーター

宮城大学事業構想学部教授

宮原 育子氏



聴講
無料

【交流会の案内】

終了後、座長とパネリストの方々を交えた交流会を開きます。お申し込みの際に、参加の有無をお知らせください。会費は3000円です。

仙山カレッジとは

河北新報社が2003年に創設した公開連続講座で、宮城、山形両県を交互に会場とし、旬の話題とともに県境を超えた広域連携の在り方を考えます。

お申し込みは

河北新報社：電話022(211)1481 平日午前10時から午後5時

電子メール houdou@po.kahoku.co.jp

件名に「カレッジ」とご明記ください